

2015 年いなげの浜オープンウォータースイムスクール
実施報告書

NPO 法人京葉インターナショナルスポーツ倶楽部
クラブマネージャー 杉本宏樹

【主催】 NPO 法人京葉インターナショナルスポーツ倶楽部

【後援】 千葉市
公益財団法人千葉市スポーツ振興財団

【協賛】 株式会社八洋
山本光学株式会社

【協力】 千葉県トライアスロン連合
千葉市トライアスロン協会
Lapulem
nararun

【場所】 稲毛海浜公園・いなげの浜

【期間】 2015年7月18日（土）～2015年8月29日（土）

【定員】 40名/1回

【参加費】 2,000円（インターネット事前申込みの場合、別途手数料あり）
※ただし事前申込みで一度に複数予約の場合、次の料金設定となります

【参加条件】 100m以上泳げる高校生以上

【時間・参加者数・気象条件など】

実施回	日程	時間	参加者	気温	水温	潮目
第1回	7月18日	※強風波浪のため中止				
第2回	7月25日	13:00-15:00	36名	31.1℃	30.0℃	長潮(満 11:31、干 16:52)
第3回	8月01日	14:00-16:00	36名	33.0℃	31.0℃	大潮(満 18:14、干 11:35)
第4回	8月08日	※青潮発生のため中止				
第5回	8月15日	14:00-16:00	36名	31.6℃	31.0℃	大潮(満 11:24、干 17:47)
第6回	8月22日	13:00-15:00	38名	31.3℃	29.0℃	小潮(満 09:25、干 14:55)
第7回	8月29日	14:00-16:00	27名	21.6℃	24.0℃	大潮(満 17:11、干 10:36)

参加人数：のべ173名 ※事前申込者は238名

(昨年のはのべ211名 ※事前申込者は250名)

【講師・スタッフ・ライフガード・救護】

	氏名	所属	担当回数
■講師	杉本 宏樹	稲毛インター	5回
	太田 麻衣子	Laplem	3回
	小池 賢	nararun	3回
	伊藤 喜志子	稲毛インター	1回
■スタッフ	伊藤 喜志子	稲毛インター	3回
	米谷 哲	稲毛インター	3回
	松尾 祐樹	稲毛インター	3回
	湯原 尚央	稲毛インター	2回
	佐藤 志帆	稲毛インター	1回
	有菌 早優	稲毛インター	1回
	渡部 晃大朗	稲毛インター	1回
	■ライフガード	御園 健二	稲毛インター
塚原 登		千葉県トライアスロン連合	4回
■救護	石井 なおみ	千葉県トライアスロン連合	2回
	岡田 智恵		2回
	井花 元代		1回

【総 評】

いなげの浜オープンウォータースイム（以下 OWS）スクールも 5 年目を迎え、「稲毛海浜公園で行う海の水泳教室」として定着してきた感がある。今年は各回とも締切日以前に定員へ達する盛況ぶりで、OWS のニーズが高まっていることを実感した。

今年に入ってからトライアスロン大会におけるスイムでの死亡事故が頻発していたため、安全管理体制には例年以上に力を入れて、スクールの運営を行った。事前のミーティングはもちろん、緊急時のフローチャートを作成し、各スタッフの役割を明確化することで、万が一の際には迅速に動けるような体制を整えた。幸いにしてスクールで事故が起こることはなかったが、危険と隣り合わせのスポーツであるからこそ、細心の注意を払ったりリスクマネジメントが必要だと感じた。

講師・スタッフ陣も本スクール運営を複数年経験しているメンバーが多かったことから、連携も取れており、運営上で大きな問題点はなかった。

今年は各回の定員を 40 名としたため、参加者数・申込者数ともに減少となったが、スクールの質は昨年以上に向上させることが出来たと感じている。これもひとえにこのスクールへご支援・ご協力くださった関係各位と全スタッフのご尽力による賜物である。

また、今年度もスポーツ振興くじ助成事業として実施できたことにより、助成金を人件費や制作費、広告宣伝費などに広く活用することが出来た。今後もオープンウォータースイムを通じて、スポーツを楽しめる環境づくりやスポーツの普及に努めていきたい。

【運営面の課題】

- ①荒天による海洋状況の悪化と青潮の影響で今年は2回中止となった
- ②参加者が赤エイなどの海洋生物に被害を受けた場合の対策が不十分だと感じた
- ③気候に応じた物品の準備が不十分（今年は夏にも関わらず寒暖の差が激しかった）
- ④指導にあたっている運営班と浜の監視班で緊急時の合図が統一出来ていなかった
- ⑤グループによっては泳力差が大きく、管理しづらかった
- ⑥講師の確保

【今後に向けて】

- ①来年以降は中止にはせず、座学へ陸上トレーニングに内容を切り替えて実施し、参加者の満足度を高めていきたい。（近隣施設の会議室、講習室を事前に予約する）
- ②スクール開催前に一度スタッフを召集し、現役看護師（救護班）から緊急時の対応などについてレクチャーを受けられるような機会を設ける
- ③事前に気象情報を把握し、気温が高ければ冷たい水や氷を多めに準備、気温が低ければ大判バスタオルや毛布、エマージェンシーシートを用意しておくという配慮が必要である
- ④海上では風や波の影響で笛の音や声が聞こえないことから、ラフティング競技などで取り入れられているリバーサインなどを参考にし、スタッフ間で事前共有する
- ⑤今年では初級・中級・上級を参加者判断でクラス分けしたが、来年以降はクラス分け基準をさらに明確化し、泳力のバラつきを抑えられるよう工夫したい
- ⑥県内の指導者が不足している状況で非常に悩ましい問題であるが、海と関わる競技を行っている選手などにも打診し「現役選手による指導」といった形でもアピールしたい

【助成金額（交付決定額）】

助成区分	スポーツ団体スポーツ活動助成
事業細目名	スポーツ教室、スポーツ大会等開催（スポーツ）
事業名	いなげの浜オープンウォータースイムスクール事業
助成対象経費限度額	1,049,650 円
交付決定額	839,000 円

【助成金の使途】

- ・講師やスタッフ（運営、ライフガード、看護師）への諸謝金
- ・スタッフTシャツやスイムキャップなどのスポーツ用具制作費
- ・webサイトの作成
- ・web広告などの広告宣伝費 など

【助成金を活用した制作物】



スタッフ T シャツ



スタッフ T シャツ



スタッフ用
イベントバック



スイムキャップ
スタッフ、参加者用



ホームページ



Web 広告



【スクール風景】



=以上=